

2020年6月18日

報道関係各位

株式会社カネカ
IR・広報部

カネカ シート状の潜熱蓄熱建材「パッサーモ™シート」を販売開始
—断熱材との組み合わせで、夏期日中の省エネに貢献—

株式会社カネカ(本社:東京都港区、社長:田中 稔)は、特殊樹脂製潜熱蓄熱材*を用いた、シート状の潜熱蓄熱建材「パッサーモ™シート」を開発し、6月から販売を開始いたしました。住宅における省エネや快適性向上に対するニーズは増加し、潜熱蓄熱建材への注目度も高まっています。当社は、押出法ポリスチレンフォーム断熱材(製品名:カネライトフォーム®)の製品改良や使用法の提案などを継続して実施しておりますが、今回、潜熱蓄熱建材「パッサーモ™シート」をラインアップに加え、省エネルギーと快適な暮らしへのソリューション提供を強化してまいります。

夏期において、日中の屋根面の表面温度は外気温に対して非常に高温になり、室内温度の上昇につながることや、一度室内空間に入った熱は夜間も逃げにくいなどの課題がありました。当社は、この課題に対し、3年間にわたり大学や地域工務店の協力を得て夏期日中のピークカットに着目して効果的な潜熱蓄熱建材の使用法の検証を進めてきました。

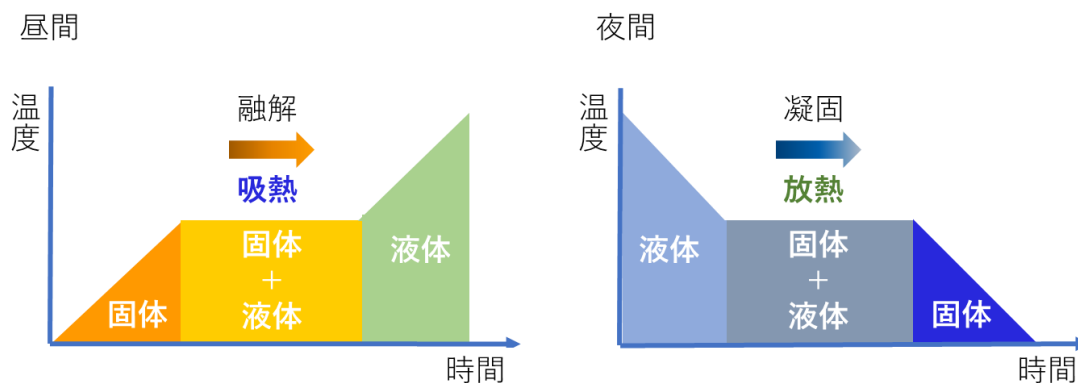
「パッサーモ™シート」は、特殊樹脂製潜熱蓄熱材を使用し、厚さ約1mmのシート状に押出成形した潜熱蓄熱建材です。屋根部に「パッサーモ™シート」と押出法ポリスチレンフォーム断熱材(商品名:カネライトフォーム®)などを組み合わせて使用することで、屋外からの熱を「パッサーモ™シート」が蓄熱し熱の流入を抑え、夏期日中の日射ピーク時の室内への熱流入を削減します。加えて、夜間には蓄熱した熱を屋外に排熱することで、一日を通して冷房負荷を軽減し、省エネに貢献します。

以上

* 蓄熱材の相変化を利用して、20～50℃の範囲内の特定温度域で熱の出し入れをするように設計されており、押出成形したシートは、従来とは異なり、蓄熱する温度域において固体の形状を保ちます。従来の蓄熱材は蓄熱すると液化するため蓄熱成分が漏洩しないよう容器やカプセルに封入して使用する必要がありました。



パッサーモ™シートにより外部からの熱を遮断する仕組み



潜熱蓄熱材は、液体⇔固体などの相変化時に熱の吸収、放出を行う材料です。